

山行報告書

平成 26 年 8 月 7 日 京都田辺山友会 報告者 中島貞夫

山名	北アルプス 裏銀座 縦走	山行名	夏山例会 山行
ルート	長野県信濃大町—高瀬ダム—烏帽子小屋—三俣山荘—鏡平小屋—新穂高温泉		
山行日	平成 26 年 8 月 1 日～ 5 日	天候	晴れ後雨・曇り
参加者	CL：中島貞夫 SL：佐坂茂美 会計：広瀬秀憲、記録：岡本綾子 金本好彰、藤村敏幸、 吉野美智代、頼 礼子、上田秀子 計 9 名		



コースタイム

<p>8/2</p> <p>5:58 松本駅 発</p> <p>7:03 信濃大町 着</p> <p>8:10 高瀬ダム</p> <p>8:30 登山口</p> <p>11:23 三角点</p> <p>13:00 烏帽子小屋 着</p> <p>13:15 出</p> <p>14:30 烏帽子岳山頂 着</p> <p>15:08 出</p> <p>15:40 烏帽子小屋 着</p>	<p>8/3</p> <p>3:45 烏帽子小屋 出</p> <p>4:51 日の出</p> <p>5:30 三ツ岳</p> <p>7:05 野口五郎小屋 着</p> <p>7:15 出</p> <p>7:30 野口五郎岳山頂 着</p> <p>7:45 出</p> <p>9:34 水晶小屋 着</p> <p>10:30 出</p> <p>13:00 祖父岳</p> <p>13:50 若苔乗越</p> <p>15:50 三俣山荘 着</p>	<p>8/4</p> <p>6:17 三俣山荘 出</p> <p>8:40 双六小屋</p> <p>11:05 鏡平山荘 着</p>
		<p>8/5</p> <p>5:30 鏡平山荘 出</p> <p>8:10 ワサビ小屋</p> <p>9:05 新穂高温泉着</p> <p>10:56 発</p> <p>12:31 高山バスセンター着</p> <p>14:40 発</p> <p>18:50 京都駅着</p>

山行報告

8月1日；京田辺市から松本市内まで高速バスを利用、松本ウエルトンホテル 泊

8月2日；松本市からJRで信濃大町へ、タクシーで高瀬ダムへ移動、
高瀬ダム—烏帽子小屋—烏帽子岳 ピストン、小屋泊

高瀬ダムの堰堤の上まで車で上がってくれたので後の行程が楽になった。

3大急登と言われているブナ立て尾根を登るのでバテないように、ゆっくりペースで小まめに休憩を取ったので、皆揃って烏帽子小屋に予定より早く登ることができた。上空薄曇りではあるが展望は申し分なく、雄大な北アルプスの峰々を楽しみ、遠く富士山、南アルプス、八ガ岳連峰も見られ感動した。烏帽子岳下山時に山中より黒い雲が流れてきて、雨がぱらつきだす。夜中星空も見られたので明日の天気を期待して寝た。

8月3日 烏帽子小屋―野口五郎岳―水晶小屋―祖父岳―三俣小屋 泊

今日は三俣小屋まで10時間の長行程なので、朝食はおにぎりにして夜明け前にスタートした。三つ岳の稜線で日の出を見て、野口五郎小屋で休憩、頂上で槍ガ岳などの眺望をたのしんで目前の水晶岳をめざすが、岩稜の下り、東沢乗越からは急な登りに横風に吹かれた。水晶小屋に着いてタイミングよく雨が降り出したので雨具を着て休憩する。山も小屋もガスに覆われたので、水晶岳はパスして鷲羽岳に向かう。ガスの中をひたすら歩いていて分岐を通り越してしまい、爺ガ岳について初めて間違ったことに気がついて、急いでもどったが、約2時間のロスになった。岩苔乗越から三俣山荘へ谷を下った、この谷は高山植物が多く見られて少し得をした気分であった。三俣山荘からは槍ガ岳や穂高、常念山脈が見られるのだが今日は白いガスしか見えない。混雑している山荘は約120人の宿泊、夕食も4交代である。



烏帽子岳
を背に

8月4日 三俣山荘―双六小屋―鏡平山荘 泊

今日は5時間ほどの行程なので、朝もゆっくりしようと思っていたのだが、朝食後部屋の掃除に追い出されるようにして、予定より早くスタートした。雨で、体調の悪い人もいるので、三俣蓮華岳、双六岳、弓折岳すべてカットして巻き路にした。双六小屋でゆっくりと休憩して鏡平山荘へ、天気良ければ小屋の前の池に槍ガ岳が写るのだが、残念ながら全てカットである。山荘内で昼食、のんびりと昼寝をして過ごす。

8月5日 鏡平山荘―ワサビ平小屋―新穂高温泉

今朝も少し雨がぱらついているので、雨具を着てスタートする。岩ノゴロゴロした下りが続くが時々沢に出るので下りには気持ちの良い路である。天気は悪いのに登ってくる登山者が多い。左俣谷が大きく見えてくると林道に出て、すぐにワサビ平小屋に着いた。

ここから新穂高まで約1時間、時折雨が降るが傘をさして、今回の山行を振りかかって見る。後半天気が悪く、登っていない頂が半分以上あり、再挑戦する意義もあると思った。

ヒヤリ・ハット

標識見落としによる、路間違い。
体調不良者が出たこと。

裏銀座山行登山に参加して

藤村 敏幸

憧れていた裏銀座縦走コースを踏破し、色々な思い出を得ることができ、山登りの楽しみを満喫いたしました。特に烏帽子小屋から三ツ岳までのなだらかな山道を、絵葉書を見がごとく、北アルプスの主峰を鮮明に眺め、朝早く少し肌寒い中を、背中に朝日を受け、歩くことができ、感動いたしました。



北アルプス裏銀座集中登山に参加。

広瀬 秀憲

1日目と2日目午前だけ天候に恵まれあとはサンザンであった。岩山の山頂を持つ聳える烏帽子岳。狭い頂上からの見下ろす景色は圧巻であった。三ヶ岳からの正面に見える赤牛岳、水晶岳、鷲羽岳の稜線。赤牛岳の後ろに薬師岳が雄大な姿を見せる。いかにもアルプスを感じさせられた。すさまじい姿の野口五郎小屋を後に水晶岳を目指す。ここから最終4日目まで激しい雨に会い、水晶岳、鷲羽岳、三俣蓮華、双六岳も寄らず新徳高へ。体力の不安もあったが、結果2日目の12時間以上の行動についていけたことに自信はついた。しかし天候に恵まれなかったことは、残念である。帰京の道すがら薬師岳、雲ノ平、水晶岳、鷲羽岳、黒部五郎岳を挑戦したいと声が出る。インターネットで調べると3泊4日で踏破している。4泊5日でもよい、来年誰か計画を立てていただけませんか。再挑戦したい。

裏銀座山行に参加して

上田 秀子

以前から登ってみたいかった裏銀座コースに参加しました。行く前は三大急登と言われている高瀬ダムからの登り烏帽子小屋まで行けるのかとても心配でしたが、中島リーダーのゆっくりペースのおかげで何とか登れました。烏帽子岳頂上は南アルプスの地蔵のオベリクスのような岩の塊で鎖もありましたがなんとか登れ大感激でした。



二日目は水晶小屋が取れなかったため三俣小屋までのロングコースで午前中は天気も良くご来光をみて周りの景色を堪能して歩きました。でも水晶小屋につくころには雨が降り出しガスも出てきて周りが見えなくなった為、水晶岳へはいかず三俣小屋へ行くことにしました。ところがガスのため分岐点に気づかず雲の平のほうへ行きかけ予定の尾根コースでなくまだたつぷり雪の残る谷コースを歩きました。そこで虫取りスミレや峰ザクラなど春の山野草が見られて花好きの私としてはとても楽しい山行でした。最後にこの山行に参加された方全員に感謝します。

あこがれの裏銀座コース

頼 れいこ

この度夏山登山難度の高いルートに挑戦しました。

トレ山行にも二回参加して体力アップに挑戦しましたが、トレ山行は日帰り本番は縦走山小屋での疲れも残りながらの縦走でした。三大急登は想像していたより登りやすく大木の根っこの階段ともいえるような道でした。10～1までの標識があり数字がくれば休憩をとってくださり、小屋まで無事着きました。翌日は12時間コース。早朝出発途中ご来光も美しく見え、感動。明るくなるにつれて周りの山々が雄大に、名だたる山々100名山がいくつ見えたのでしょうか。すばらしい眺めでした。

水晶小屋辺りから小雨が降り出し雨具を着るが、雨が直ぐに上がりよかったです。足元にはお花畑も沢山見られ雪溪の上も数回歩きました。雷鳥も二回も遭遇し、疲れた中にも癒されました。

晴れを祈りましたが、鏡平小屋から逆さ槍は見る事が出来ず、残念でした。

わさび平小屋での冷たいトマトは最高に美味しかったです。

温泉で汗を流して高山から京都へ。

リーダの中島さん佐坂さんお世話になりました。有難うございました。

よい思い出が増えました。



早くも来年の夏山を想う

岡本 綾子



夏山集中登山歴を振り返ると1年目・雨の白馬三山、2年目・緊張の剣岳、3年目・迫る西穂～奥穂縦走で頭が一杯であり覚えていない八ヶ岳と余裕がなかった登山でしたが、4年目にして初めて北アルプス縦走の醍醐味を味わえた気がします。高山病の兆候で食欲不振と嘔吐があり、体力的には雨で助けられた部分が多々ありましたが、2日目の烏帽子～野口五郎岳～水晶縦走路の槍ヶ岳を望みながらの景色はとても素晴らしい！につきます。1日目の日本三大急登を頑張ったご褒美ですね。すれ違う登山者も少なく、個人で行ける実力があつたら、少人数

のパーティで気ままにのんびり歩いてみたい所です。午後からは雨模様で後半は残念でしたが、あの景色を見られただけで今回の裏銀座コースに参加した甲斐がありました。雨で早く着いた小屋では、来年の夏山コースの話題で盛り上がりました。来年はどこに行こうかな？

裏銀座コースに参加して

吉野 美智代

今回の裏銀座コースを歩くのは37年振りでした。夜行バスの予約が取れず、8/1の朝9時にバスで深草から松本に向かい、松本では松本城などを見学して時間を過ごし、夜はホテルで泊まりましたが、昨日に続き不眠で眠れませんでした。

8/2は高瀬ダムから烏帽子岳を目指してブナ立尾根を元気に登る事が出来ましたが、烏帽子小屋でも夜は眠れませんでした。

8/3の朝も天気は良く三ツ岳からの展望に満足でしたが、野口五郎岳で集合写真を撮ってから雨模様になり、水晶小屋では雨宿りをしながらコーヒータムになり、100名山の水晶岳には残念ながら登頂出来ませんでした。その後、三俣山荘に向かいましたが途中から睡眠不足により調子が悪くなり、自分の体も重く、ストックを借りたりしましたが日頃から使っていないので、うまく使えず三俣山荘に着くまで長く時間がかかり、皆さんに迷惑を掛けてしまいました。私の後続のメンバーが後ろから見ていたら私の体が大分ふらついており、山荘についたら私の唇が紫色だったそうです。



しかし、その夜はやっと3時間半位眠れたので8/4と8/5は又、元気に行動出来ました。が今後、長期の山行参加には慎重にする必要があると反省しました。何日も眠れないのは致命的と考えました。

CLの中島さん、SLの佐坂さん、同行の皆様お世話になり有難うございました。

宿泊小屋三景

左から烏帽子小屋、三俣山荘、鏡平山荘



悪天候も又山なり

佐坂 茂美

裏銀座コース山行が正式決定され、参加者も決まり小屋の予約等の作業にかかったが起案されていた水晶小屋の予約は既に満杯との事でルート上の小屋の選定、変更に伴う最終ルートの中島さんをお願いした。結果、山行2日目の烏帽子小屋から三俣山荘までは10時間を要する行程となりました。事前の3度のトレーニングもこのルートに相応しいコースでの実施となり参加者と共にあるきましたが どうか互いのペースの確認が出来ました。

出発日のバスの深夜便の予約がとれず、午後発での出発となり到着地“松本”での散策が出来ることとなり 国宝“松本城”の余禄観光が出来ました。夕食(?)は蕎麦で終えましたがその後は有志での翌日からの作戦会議の実施となりました。



取り付き直後は苦手な高所・不動の吊り橋でここをクリア出来れば後は地に足を付けた歩行ですので皆に付いて行けます。最後尾をゆっくりと歩かせて頂きました。

1日目の烏帽子岳までは天気も良く360度の展望、槍ヶ岳、劔や明日からの別働隊が登る大天井、燕等も遠望しながらと満喫できました。然しながら小屋への復路の当たりから空模様が変わり始め明日からの山行に不安を感じ始めました。

2日目 心配していた天候もどうか雨の洗礼を受けずに出発出来ました。野口五郎岳では彼(?)の歌“私鉄沿線”がどうしても思い出せず・・・この稜線から見える北アルプスの山々を楽しませて頂きましたが この眺望も降雨のために水晶小屋当たりで終了したのは残念です。

北ワリモ分岐点の道標を見落とし祖父岳方面に向かってしまいました。そのルートは雲の平に向かうルートでもあり小屋到着後には早くも来年のチャレンジコースとして是非雲の平に行きたいとの話題提供者もありました。このメンバーは楽しい連中です。

三俣山荘までのルートは岩苔乗越から黒部源流を経由することに変更されたルートを歩きましたが体調不良者も出て難行苦行の歩行となってしまいました。樹間に三俣山荘の屋根を確認できた時の安堵感は言葉になりませんでした。



3日目、4日目は歩行距離も短く 天候は今一でしたがノンビリと時には雨が体をクールダウンしてくれ、下山地での温泉“ニュー穂高”では3日間の汚れを洗い流し 冷たいビールで喉を潤し“3泊4日”の山行を終えた満足感に浸りました。

体調不良者が出て、断念したピークハントもありましたが“これも山なんだ。リベンジのチャンスを貰った”と仲間や自然に感謝です。

追記

このルート踏破を希望されていた染矢さんが 体調が思わしくないとの事で、参加を断念された。参加はされなかったがバスでのアクセスや下山後の温泉等の紹介をして頂き 想像以上に安価な山行を実現出来たことに感謝させていただきます。

夏山感想文

金本 好彰

コース選定

今回の夏山は、6月の参加者集会で ①燕岳・常念 ②烏帽子・水晶のどちらかとなった。

- ① は以前5月の連休に仲間と行っているの、今回は②に参加することになった。
- ② の参加者が集まり、意見交換をしたが、このコースは、初めから代わり映えのしないCL・SLが決まったようになっていた。今後の育成のためにも別の人をすべきであったと思いました。

居酒屋シー坊

松本の宿泊ホテルの向かいに「居酒屋シー坊」がある。大衆的で安い。

注文の料理は経営者の夫婦が行い、注文や運びは幼稚園から最年長は6年生の4人の子供たちが行っている。

黒板に書いている安いおかずを注文すると、上の子が聞いてくれるが、その後は売り切れのためすぐに黒板を消してしまう。面白い。

注文したおかずの来るのが遅くても、相手は小さい子供なので、だれも文句を言わない。

山は好天に限る。

1日目の急登の登り、前日はお酒を控えたこともあり、覚悟していたが、そんなに困難なことはなかった。

2日目のロング縦走の昼までは好天で、日の出や槍・穂高、立山などの、山景色は最高であった。昼ごろ水晶小屋に着いた時から雨になり、視界が悪く、頂上を極めることが出来なかった。